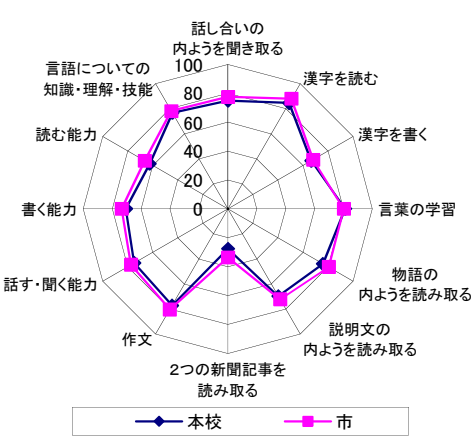


宇都宮市立宮の原小学校 第5学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	74.8	77.4
	漢字を読む	84.6	87.9
	漢字を書く	66.5	68.1
	言葉の学習	81.1	80.2
	物語の内ようを読み取る	75.9	80.6
	説明文の内ようを読み取る	69.7	72.3
	2つの新聞記事を読み取る	27.7	33.5
	作文	77.1	80.3
観点別	話す・聞く能力	74.8	77.4
	書く能力	70.5	73.4
	読む能力	62.4	66.4
	言語についての知識・理解・技能	76.7	78.2



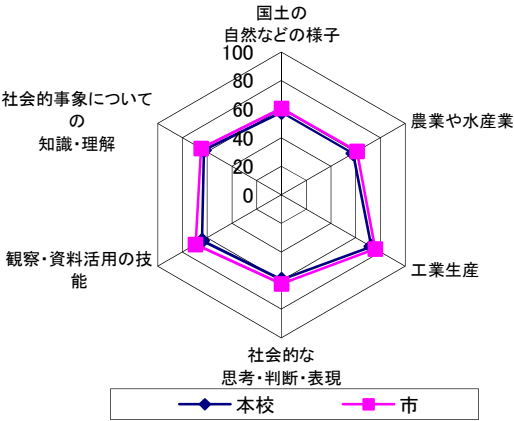
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・平均正答率は市の平均正答率より、やや低い。「話し手の意見の相違点を聞き取り、自分の意見を話す」問題は、平均より正答率が高くなっているが、「司会者の工夫を考えながら、話の内容を聞く」問題の正答率は、市の平均より低くなっている。	・普段の学習から話し手が何を伝えようとしているか考えながら聞くことや、話し手の意見の大切な部分を短くまとめることなどをするように、意識させていく。また、いろいろな話し合いの司会をさせる経験を通して、定着させていく。
漢字	・平均正答率は市の平均正答率より、やや低い。漢字を読むことは比較的できているが、書くことについては、過去に学習した漢字の正答率が低くなっている。	・過去に学習した漢字の復習を繰り返す行うとともに、習った漢字を普段の学習で使用するように指導する。
言葉の学習	・全体的な正答率は、市の平均正答率よりやや高くなっている。「文脈に沿って正しい漢字を使う」問題の正答率は、市の平均正答率よりは上回っているが、他の問題と比べると低い。	・物語や説明文の学習の中で、文脈にそった言葉の使い方を指導するとともに、言葉の使い方についての取り出し学習を行う。
物語の内ようを読み取る	・登場人物の心情を読み取る問題では、市の平均正答率と比べると、やや低くなっている。	・登場人物の心情を捉えるキーワードを見つけさせたり、物語がどのように展開していくのか確認する活動を取り入れたりして、内容を確実に理解させていきたい。
説明文の内ようを読み取る	・文と文のつながりを考えながら読み取ることはできているが、段落のまとまりを考えながら読み取る問題の正答率はやや低い。	・文章に書かれている内容を理解させるために、事実や筆者の考えがどのように述べられているのか考えながら読み取らせていく。また、各段落の要点をまとめたり、接続語や指示語から段落と段落のつながりを捉えたりする活動を重視し、確実に読み取れるよう指導していく。
2つの新聞記事を読み取る	・2つの文章を読み比べる問題では、共通な部分と違う部分を適切に見つけることの正答率は、どちらも低い。	・2つの文章を、どのような観点で比較していくか基本的な方法を指導したり、同じような文章でも構成によって伝わり方が違うことを実感させることを通して、定着を図る。
作文	・作文の意見と感想を区別して書くことは比較的できているが、決められた形式で文章を書くことの正答率はやや低い。	・作文を書く場合には、基本的な形式があることを確認し、形式に合わせた作文を書く機会を増やす。

宇都宮市立宮の原小学校 第5学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	国土の自然などの様子	57.9	60.4
	農業や水産業	57.9	61.0
	工業生産	72.4	75.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	59.3	62.2
	観察・資料活用 of 技能	64.1	69.4
	社会的事象についての知識・理解	62.7	65.0



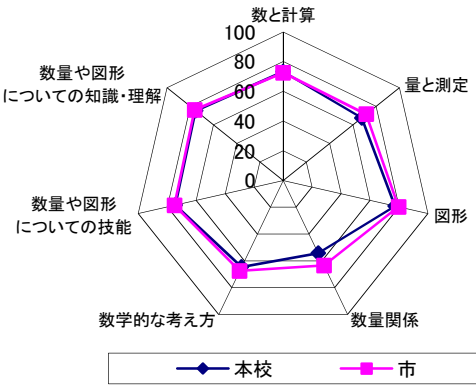
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然などの様子	・日本や世界の地形や名称などについての理解はおおよそ定着していると言えるが、細部にわたった理解は不十分である。	・日本の細かな地形や位置について、地図帳で確認したり、名称を覚えたりさせる。
農業や水産業	・調べようとする課題に対して必要な資料を考察し選択することはおおむねできた。日本の食糧が輸入に頼った場合の問題点を読み取って答える問題の正答率は低い。	・日本の食糧についての問題点を確認したり、日常的に課題意識をもって考える体験を積み重ねる。
工業生産	・自動車工場での工夫や、関連工場についての理解はできている。複数の写真資料の共通点を読み取って表現する問題の正答率は低い。日本の工業地帯や工業生産について資料を読み取る問題にも課題がある。	・複数の資料から読み取れることを自分の言葉で表現する練習を行う。日本の工業地帯についての知識の確認をし、定着を図る。

宇都宮市立宮の原小学校 第5学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	73.2	72.5
	量と測定	67.6	71.5
	図形	77.2	79.6
	数量関係	54.3	63.5
観点別	数学的な考え方	64.6	67.6
	数量や図形についての技能	74.5	75.1
	数量や図形についての知識・理解	75.4	76.3



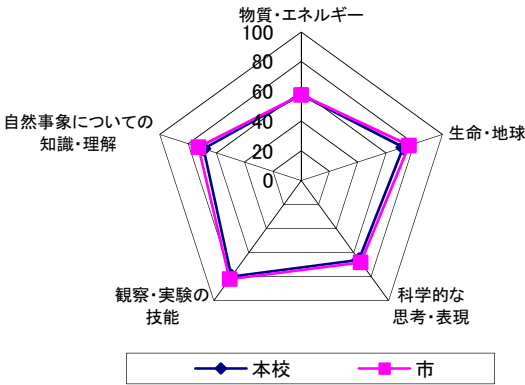
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・市の平均正答率とほぼ同じである。整数の仲間わけや小数のわり算ではよくできている。文章問題を図に表した図の理解の正答率は低い状況である。	・文章問題を解く場合は、図や数直線の活用が大切であることを理解させ、普段の算数の授業でも積極的に書かせる機会を増やす。
量と測定	・「立方体の体積」や「平均」を求める式の理解はおおむねできている。「単位量当たりの大きさ」を求める問題での正答率は低い。	・文章問題で求められている内容を的確に把握し、基準となる単位当たりの量で比べることができるようにする。計算した数字の意味を考え、正確に回答できるように練習する。
図形	・「三角形の内角の和から、角度を求める」問題の正答率が高かった。「対角線の性質」の理解は不十分である。	・対角線の定義を実際の図と照らし合わせながら確認し、図形によって性質が違うことを理解させる。
数量関係	・「ともなって変わる2つの数量の関係を式に表す」問題と「計算のきまりを小数に応用する」問題での正答率はどちらも低い。	・ともなって変わる量の様々な問題に触れさせ、2つの数量の関係を式に表せるように練習をする。計算のきまりの問題は、基本的な形の復習をし、練習問題に取り組ませる。

宇都宮市立宮の原小学校 第5学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	57.8	57.6
	生命・地球	72.3	76.3
観点別	科学的な思考・表現	66.2	68.1
	観察・実験の技能	79.9	82.0
	自然事象についての知識・理解	69.1	72.7



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	・「もののあたたまり方」の問題は市の平均正答率と比べると高かった。「水の姿」についての知識理解は不十分であった。	・温度によって「水のすがた」が変わっていく様子とその時の状態を表す用語を確認し、定着を図る。
生命・地球	・「けんび鏡の使い方」についての技能や「雲と天気の変化」についての知識を問う問題の平均正答率はおおむね高い。「天気の詳細」や「川の石についての特徴」に関する問題は正答率が市の平均正答率よりも低い。	・雲の動き方のきまりや流れる水のはたらきについて確認する。